



# 岩手大学

岩手大学広報誌  
IWATE UNIVERSITY

Vol.42 APRIL  
2019.4

## INDEX

- P1…創立 70 周年
- P2…研究紹介
- P3…キャンパスライフ
- P4…センパイ紹介!! ほか
- 岩手の“大地”と“ひと”と共に 岩手大学創立 70 周年
- 匂いを感じるメカニズム 農学部共同獣医学科准教授 中牟田 信明
- サークル紹介 GANDAI UPDATES ほか
- センパイ紹介!! 河北新報社 松岡 里奈さん
- TOPICS ● 釜石キャンパスが本格始動 ほか Information ● 岩手大学の教育・研究コストの情報 ほか

## 岩手の“大地”と“ひと”と共に 岩手大学創立 70 周年

岩手大学は、1876 年設立の盛岡師範学校を起源とし、宮澤賢治が学んだ盛岡高等農林学校や盛岡工業専門学校を統合・継承して、1949 年に新制国立大学として発足しました。その後、2004 年に国立大学法人として新たな歩みを進め、2019 年に創立 70 周年を迎えます。

創立 70 周年記念事業として、東日本大震災発生後の本学の取り組みの総括と、地域や世界に向けた発信、及び未来への伝達を包括し、読んで、見て、感じて、活かし伝えていく事業を実施します。

## EVENTS

### 記念講演会・記念式典

日時 2019 年 10 月 19 日(土) 14:00～17:00  
会場 岩手大学第一体育館

#### 記念講演会講師

「おらおらでひとりいぐも」第 158 回芥川賞受賞  
教育学部卒業生 若竹 千佐子さん

#### 岩手大学ミュージアム企画展 (震災復興に関する特別企画展示)

開催期間 2019 年 10 月 (2 週間程度を予定)  
会場 岩手大学図書館 1 階 アザリアギャラリー

#### 「グローバル人材で未来創造」国際シンポジウム

開催期間 2019 年 11 月 13 日(水)～16 日(土)  
会場 岩手大学復興祈念銀河ホールなど

## NEWS

### 70 周年記念のコラボレーション

岩手大学ぶどう部×エーデルワイン 「いわてヌーヴォー」  
ワインは赤と白の 2 種類で、ぶどう部がデザインしたラベルと 70 周年ロゴマークが入った特別な仕様。岩手大学生協で 1500 円 (税抜き) で数量限定販売中!

#### 70 周年記念歌披露

記念式典で学生によるお披露目が行われる予定です。  
作詞：照井 翠氏 (俳人、本学教育学部卒)  
作曲：大場 陽子氏 (作曲家、岩手大学教育学部准教授)



創立 70 周年記念事業募金へのご協力をお願いいたします。



#### 読んで

##### 復興活動記録誌

東日本大震災にどのように対応し、被災地の復興にどのように関わったのか。岩手大学教職員・学生による渾身の取り組みをまとめます。

#### 見て

##### 岩手大学 70 周年記念誌

創立 60 周年以降 2009 年から 2018 年までの 10 年間における岩手大学の歩みを、多くの写真と共に紹介する「岩手大学 70 周年記念誌」を発行します。

#### 感じて

##### 各種イベント

岩手大学ミュージアム企画展、記念式典、講演会、国際シンポジウムなどのイベントを開催します。

活かし、伝えていく

#### 学長あいさつ

学長 岩淵 明



皆さんこんにちは。学長の岩淵です。今年岩手大学は創立 70 周年を迎えます。記念事業を現在企画・準備しております。過去 10 年を振り返ると本学での大きな取り組みは、やはり東日本大震災における復興支援活動であります。その活動記録を後世に残すことが必要であり、その記録誌を編纂、出版いたします。また 10 月 19 日には不來方祭に合わせて記念式典を行い、教育学部卒業生の芥川賞作家・若竹千佐子氏の特別講演を行います。皆さんと一緒に「お祭り」を楽しみましょう。また 11 月には海外協定校の学長を呼んで国際フォーラムを予定しています。

#### 卒業生



地域と共にある大学での経験が自分の成長源です。釜石キャンパスも整備され、益々の躍進を応援しています。

株式会社エヌエスオカムラ  
小田嶋 祐希さん  
(2018 年 3 月農学研究科  
共生環境専攻修了)

盛岡市立上田中学校 3 年  
高橋 亜美さん

#### 在学生



岩手大学の皆さん創立 70 周年おめでとうございます。岩手大学の教育実習の先生方の授業はとても楽しいです。

創立 70 周年を学生として迎えられるのが光栄です。岩手大学から社会へ羽ばたけるよう、研鑽を積んで参ります。



地域の中学生

岩手大学人文社会科学部  
人間文化課程 4 年  
田代 優仁さん

1949 年 (昭和 24 年) 岩手大学設置当時の正門

# 匂いを感じるメカニズム



農学部共同獣医学科 獣医解剖学研究室  
准教授 中牟田 信明

動物の鼻にはヒトには無い嗅覚器があり、これをヤコブソン器官ないし鋤鼻器（じよびき）と呼びます。哺乳類の鋤鼻器は管状の器官で、左右に並ぶ二本の管が鼻腔と口腔の間にあり、前方では鼻腔や口腔と連絡し、後方は行き止まりになっています。動物によって鋤鼻器の形態は随分異なります。例えば、カメの鼻に哺乳類で見られるような管状の鋤鼻器はありません。

## 1 嗅上皮と鋤鼻器

嗅細胞が集合した器官を嗅覚器といいますが、ヒトでは嗅覚器が鼻腔の天井付近に位置し、嗅上皮と呼ばれます。嗅上皮に分布する嗅細胞の突起（軸索）は集まって嗅神経をつくり、脳の嗅球まで伸びています。

軸索の他にもう一つ、嗅細胞には樹状突起と呼ばれる突起があり、樹状突起の先端には、線毛や微絨毛と呼ばれる微細な突起があります（写真1）。線毛と微絨毛は、太さや長さの違いがありますが、共に細胞の表面積を増やすことに貢献しています。匂いを感じるには、細胞の表面にある嗅覚受容体と化学物質が結合することが必要で、嗅細胞が興奮すると、嗅神経を通して刺激が嗅球へ伝えられます。

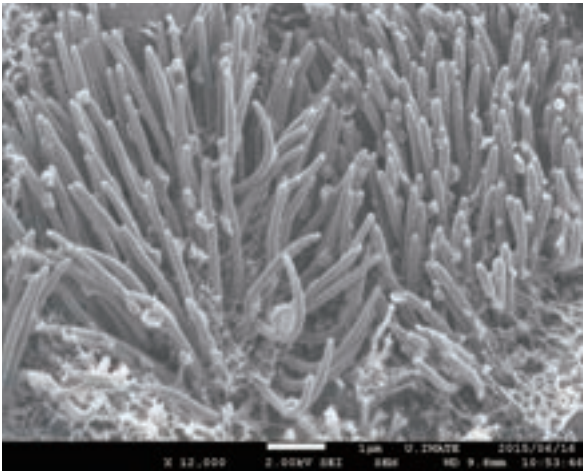


写真1 走査型電顕で撮影したカメの嗅覚器。樹状突起先端の線毛が多数見えます。

## 2 カメの鼻

カメの鼻腔は上憩室と下憩室に分かれています。一般に、上憩室は付属腺をもつ感覚上皮、下憩室は付属腺を欠く感覚上皮に裏打ちされ、それぞれ上憩室上皮、下憩室上皮と呼ばれます。ところが、スッポンモドキ（写真2）の鼻には付属腺をもつ感覚上皮がどこにも見つかりません。付属腺の分泌物には化学物質が嗅覚受容体へ結合するのを助けると同時に、いったん結合した化学物質を洗い流す作用があると考えられます。スッポンモドキのように、産卵時を除いて常に水中で生活するカメでは付属腺が不要になったのかも知れません。鼻粘膜には感覚上皮の他に非感覚上皮があり、上憩室と下憩室とを分ける隆起は非感覚上皮に被われています。

上憩室上皮と下憩室上皮のどちらが大きいかはカメの種類によって異なり、水の中で過ごすことの多いカメでは下憩室上皮の方が大きい傾向にあります。上憩室上皮から出る軸索と下憩室上皮から出る軸索は別々に束ねられているので、嗅神経の断面で両者を比較することが出来ます。逆に、陸上で過ごすことの多いカメでは下憩室上皮が小さく、下憩室のほとんどが非感覚上皮で裏打ちされています。上憩室上皮は嗅上皮、下憩室上皮は鋤鼻器と呼ばれることも多いのですが、上憩室上皮は空气中、下憩室上皮は水中の匂いを嗅ぐ嗅覚器と考えた方がよいかも知れません。上憩室上皮と下憩室上皮には付属腺の有無

以外にも違いが見つかります。樹状突起の先端に線毛をもつ嗅細胞を線毛性嗅細胞、線毛をもたない嗅細胞を非線毛性嗅細胞と呼びますが、非線毛性嗅細胞は微絨毛をもつので、微絨毛性嗅細胞と呼ぶこともできます。カメの嗅覚器では一般に、上憩室上皮には線毛性嗅細胞、下憩室上皮には微絨毛性嗅細胞が分布しています。多くの動物では、嗅上皮に線毛性嗅細胞、鋤鼻器に微絨毛性嗅細胞が分布するので、カメの上憩室上皮を嗅上皮、下憩室上皮を鋤鼻器と呼ぶのもそのためです。ただし、スッポン（写真2）では上憩室上皮だけでなく下憩室上皮にも線毛性嗅細胞が分布しています。なぜそうした例外が生じるのかは今のところ不明で、カメの卵から胚を採取して下憩室上皮の発生学的な由来を調べましたが、スッポンと他のカメとの間に明確な差は見つかりませんでした。



写真2 左と上はスッポンモドキ（別名ブタバナガメ）。右と下はスッポン。

例外といえば、後述するように匂い受容体が下憩室上皮に発現することも、他の脊椎動物から見れば例外的です（写真3）。匂い受容体は嗅覚受容体的一种で、哺乳類では嗅上皮に発現しています。哺乳類だけでなく、ヘビ（爬虫類）やカエル（両生類）でも、匂い受容体は嗅上皮に発現しています。魚類や鳥類でもそうですが、これらの場合はそもそも鋤鼻器が存在しません。つまり、少なくとも鋤鼻器をもつ動物では、匂い受容体を発現し

ないのが鋤鼻器の特徴と言えます。しかし、これにも例外があって、ヒキガエルでは鋤鼻器にも匂い受容体が発現しています。例外のない規則はない、ということなのです。

## 3 匂い受容体

カメの鼻について本格的に調べ始めたのは、スッポンのゲノムが解読され、千個以上の匂い受容体遺伝子が存在するのを知ってからです。これだけ多くの種類の受容体が狭い上憩室上皮にだけ発現しているはずはない、匂い受容体は下憩室上皮にも発現しているだろうと予想しました。その背景には、匂い受容体のシグナル伝達に関わる分子が、上憩室上皮と下憩室上皮の両方に発現しているという根拠がありました。

予想通り、匂い受容体は上憩室上皮だけでなく、下憩室上皮にも発現していることが3Dc-Hybridライゼーション解析で明らかになりました。さらに、匂い受容体はクラスI受容体とクラスII受容体に分類できますが、前者は下憩室上皮、後者は上憩室上皮に発現していることも分かりました。上憩室上皮が空气中、下憩室上皮が水中で機能する嗅覚器だとすれば、クラスI受容体で水溶性、クラスII受容体で揮発性の物質を受容しているのかも知れません。



写真3 魚類から哺乳類まで、さまざまな脊椎動物の嗅覚器を使って研究しています。

サークル紹介 基礎スキー部

12月上旬からゴールデンウィークにかけて、オンシーズンとなるスキー・オリンピックなど欠かさない種目の1つです。ね。岩手大学にもスキーに取り組み基礎スキー部があります。創部から30年以上という歴史ある基礎スキー部の魅力に迫りました。



(左から)取材に協力してくれた 研さん、古川さん、佐藤さん

基礎スキー部はどんな部活?

古川:16名で活動しています。入学してからスキーを始めたという人が多いです。楽しみながらスキーをする人もいれば、大会での上位入賞を目指している人もいます。

普段はどのような活動をしていますか?

佐藤:オンシーズンは安比高原スキー場で活動しています。基本の土・日・祝日に加えて授業のない平日にも行きますが、部員の都合に合わせて決めています。シーズン中はコーチからレッスンを受けていたり先輩から教わったり、各自で自主練習をしたりしています。

オフシーズンはまだ雪が残っている山形で合宿をしたり、体育館などで室内競技をして体力づくりをしたりしています。

みなさんの入部のきっかけは?

古川:岩手大学の基礎スキー部は活動しやすい環境が整っているから、入部しました。

佐藤:高校生のころから、大学に入ったらスキー部に入ろうと決めていました。

研:大学のホームページを見ていて、スキー部が目に入りました。

基礎スキー部の好きなところは?

古川:部員の人柄が良いところです。あと、自分で目標を立てて考えながら練習して上達するという過程が楽しいですね。

佐藤:周りのスキー好きな仲間と一緒に楽しめることです。

研:様々な世代の人たちと繋がりが持てるのが魅力です。

新入生のみなさんに一言!

古川:みんな初心者から始めているので、できる・できないに関わらず、やりたいという気持ちさえあれば歓迎します!スキーを楽しむながら技術を伸ばすことができるので、ぜひ入部してほしいです。

取材を通し、スキーの楽しさや部員同士の仲の良さがとても伝わってきました。話を聞いていて私もスキーをしたくなってきました。30年以上続く基礎スキー部。ぜひこれからもスキーの魅力を色々な人に発信してほしいです。今後もしスキーを楽しみながら活動していってください!

《取材にご協力いただいた皆さん》  
部長 理工学部物理材料理工学科4年 古川 皓啓さん (青森県立弘前中央高校出身)  
書記 農学部植物生命科学科4年 佐藤 晴香さん (長野県立大学高等学校出身)  
理工学部システム創成工学科3年 研(さそ)光輔さん (青森県立七戸高等学校出身)

《インタビューしました!》  
農学部 2年 中村 琴乃



大会出場前のアップ中

サークル紹介 なずな教室

岩手大学には、教員を目指す学生が多数在籍しています。しかし、日常生活で小学生などの子供と接する機会が多くなっているのではないのでしょうか?子供とボランティアに興味のある方必見!なずな教室をご紹介します!



(左から)取材に協力してくれた 和野さん、小林さん、嘉藤さん

なぜな教室はどんなサークル?

嘉藤:小学生を対象として、放課後の遊び場を提供する活動をしています。週に1回子供達を集めて、学生が企画・準備した遊びを楽しんでもらっています。

入部のきっかけは?

小林:学科の先輩たちが運営していたことがきっかけの一つです!また、教員を目指しているので、子供との関わり方なども学べると思い、なずな教室に決めました。

嘉藤:最初は先輩や同級生について体験に行ったら、一緒に遊びたくなったのがきっかけです!

和野:大学に入ったら子供と関わることができると、ランティアの活動をしようと思っていました。中でもなずな教室は特定の子供たちと関わることができるという魅力があって、入部を決めました。

普段の活動内容は?

嘉藤:週2回のミーティングで子供と遊ぶ内容を決めています。子供達には担当の学生がついていて、その子にあった遊び方や楽しみ方を考えて、一緒に遊んでいます。話し合いをして、子供達全員が楽しめるように頑張っています。遊びはボードゲームやドッチビーなどを企画しています。

和野:他にも、6年生となずな教室の卒業生を「送る会」や、遠足や合宿も行っています!

活動がやりがいを感じる時は?

小林:自分が考えたことで子供が楽しんでくれた時に、1番やりがいを感じます。

和野:活動リーダーで企画をした際に、成功するonyariがいに感じます。また、子供達だけでなく親御さんに褒められる時もやっと思って思えます!

嘉藤:ミーティングで出た反省を生かして、次に繋げて子供が笑顔になってくれると嬉しいです。

サークルの魅力は?

和野:同じ子供達と1年を通して一緒に遊んで、その子の成長を感じられることです。また、企画・運営をする力も身につきます!

小林:担当制はなずな教室の1番の魅力だと思います。1人の子について深く考えられるので、教師になった時にも生かすことができると思います。

和野:実際に教育実習でも子供達との接し方や物事の示し方が身につけていたと感じたので、役に立ちました。

取材を通して、子供達と接するだけでなく、企画運営・準備全てを自分たちで行うことで、苦労を乗り越えて楽しさを感じるサークルだと感じました。教師を目指している人にも、子供が好きな人にとっても、非常に魅力的な活動をしています。自分の力を高められる、そんな場所にぜひ!

《取材にご協力いただいた皆さん》  
代表 教育学部4年 嘉藤 瑞紀さん(岩手県立盛岡北高等学校出身)  
副代表 教育学部4年 和野 彩月さん(岩手県立盛岡第一高等学校出身)  
教育学部2年 小林美奈子さん(新潟県長岡向陵高等学校出身)

《インタビューしました!》  
農学部 3年 川戸 菜摘



遊びの企画・準備も協力して行います

GANDAI UPDATES

岩手大学公式 Facebook に掲載した広報室学生スタッフの記事より、反響が大きかったものをご紹介します!

インタビューリレー Vol.2

こんにちは!広報室学生スタッフの松嶋です。岩手大学にかかわる“ひと”にスポットをあてたインタビューリレー。トップバッター藤田麗さんの紹介で今回バトンを受け取ってくれたのは、前サークルU代表の塚本真由さんです( ^ v ^ )/

★★第二走者:塚本真由(つかもとまゆ)さん★★  
学部学科:農学部動物科学科 学年:3年(取材当時)  
出身高校:東京都立多摩科学技術高等学校

一岩手大学農学部を目指すきっかけはなんですか?

塚本:高校生の時に科学研究部に入っていたのですが、元々生き物や昆虫が好きで、部活では蜘蛛の糸について研究をしていました。研究発表会なども経験させてもらったのですが、高校で動物を扱うことには倫理的な面からも活動に制限があったんです。「動物もやりたい!」と思ってから、動物を扱える学部を探して...という経緯で、今農学部の動物科学科で勉強しています。

一留学について教えてください。

塚本:大学で短期留学に2回行きました。まずフィリピンに行ったのが1年生の2月のこと。留学に行ってから結構時間が経ちますが、今でも一緒に遊びに行くくらいとても仲が良いんです!参加して良かったなって改めて思いますね。2年生の夏にはカナダに行ってきました。これは農学部のプログラムの一環です。

一塚本さんが代表を務めていた「サークルU」は、海外の学生さんと活動していますよね。どんなことをしているんですか?

塚本:「サークルU」はすごく人数が多くて全体で100人くらいいますが、日本人学生で構成されていて、月一回の頻度で活動しています。私たちが開催するイベントに、海外の学生さんが参加するという感じです。

一どうしてサークルUに入ったんですか?

塚本:国際系にはもともと興味がありました。高校生の時から留学生と交流したり、家族と旅行に行くことが好きだったり。それで大学に入った時サークルUを見つけて「いいな!」と思いました。色々なことをやりたいという気持ちは、元々私の中にありました。留学生の人と話すのって楽しいと思っていたので、それもきっかけですね!

塚本さんがいきいきとインタビューに答えてくれる姿からは、バイタリティに溢れた大学生活が伝わってくるようでした。

動物の勉強や国際交流...興味関心に向かって意欲的に挑戦していく姿がとっても素敵です!



広報第9事務所通信

広報室学生スタッフで組織される「広報第9事務所」。いま伝えたいことをゆくりと発信します。

岩大生が盛岡市の散策マップを作りました!

岩手大学まちづくりサークルNPCNは「街の活性化」に向けた取り組みを行っているサークルです。具体的な活動内容としては、前期に「笑顔の街角プロジェクト」の活動を行い、後期は毎年違う取り組みに挑戦しています。笑顔の街角プロジェクトでは、盛岡さん



作成中の冊子

さ踊りの際に市民の方の笑顔の写真や、さんさ踊りに出演する男性のポスターを作成して大通りに設置する活動などを行っています。そして平成30年度後期の活動として、盛岡の散策マップの作成に取り組みました。観光客の方に盛岡のスポットやお店をもっと知ってもらいたい、盛岡に住んでいる人にも今まで知らなかった場所を見つけてもらいたい、そのような思いからこの活動は始まりました。市内の循環バスを利用して巡ることのできるエリアに着目し、取材・編集などを学生自ら行っています。完成した冊子は駅やバスセンター、校内などに置いています。フリーなので気軽に手にとって、気になったスポットへ行ってみたいかがでしょうか。新入生は盛岡に来たばかりという方も多いと思いますが、このマップを参考に盛岡を知ってもらえたら嬉しいです。また、このような活動に興味があるという方はNPCNと一緒に活動しましょう!



コーナー担当 農学部3年 米田 莉子

TOPICS トピックス

岩手大学ぶどう部×エーデルワイン オリジナルワインを発表

1月16日、岩手大学ぶどう部が株式会社エーデルワインとコラボレーションした岩手大学70周年記念オリジナルワイン、「いわてヌーヴォー」を発表しました。岩手大学ぶどう部は、花巻市大迫を中心とした県内ぶどう産地の魅力を多くの人に伝え、地域を盛り上げることを目的に2015年に結成されたサークルで、これまでぶどう農家の手伝いや大学祭でのぶどう販売、ワイン試飲会などの活動を継続して行ってきました。

この度お披露目されたワインは赤と白の2種類で、いずれも2018年に県内で生産されたぶどうを使用したエーデルワインの新酒。ボトルにはぶどう部がデザインしたレトロなラベルを貼付し、岩手大学70周年記念事業の一環として70周年を祝うロゴマークも入った特別な仕様です。岩手大学生協にて1,500円(税抜き)で数量限定販売中です。



(左より) ぶどう部斎藤さん、岩淵岩手大学長、藤籠エーデルワイン社長、ぶどう部代表小畑さん

釜石キャンパスが本格始動



釜石キャンパスで研究を行う学生

農学部食料生産環境学科水産システム学コース3年生14名が、2018年10月より釜石キャンパスで教育・研究活動を開始しました。三陸を見つめながら、グローバルな視点で水産・海洋問題を解決できる人材を育成します。現在釜石キャンパス内に教育棟を建設中で、2019年5月頃竣工予定です。

学内カンパニー Anonas Lighting がアマゾンウェブサービスジャパン株式会社賞を受賞

岩手大学学内カンパニーのAnonas Lighting(アノナスライティング)が、ビジネスコンテスト X-Tech Innovation 2018でアマゾンウェブサービスジャパン株式会社賞を受賞しました。

Anonas Lightingは学生主体で運営する学内仮想企業で、平成30年度は盛岡市と協力し、防災ラジオと連動してテレビや照明が自動で起動するシステムの開発を行ってきました。高齢者や障がいを持つ人にも緊急地震速報や避難情報を素早く把握してもらうことで、災害の犠牲者を減らすことが期待されています。



発表する高橋信貴社長(左)と高橋俊也副社長(右)

Introduction to a senior  
センパイ 紹介!!  
OG-INTERVIEW  
インタビュー  
第39回



新聞社営業  
PROFILE  
まつおか 里奈さん  
宮城県仙台市生まれ  
平成30年3月  
人文社会科学部  
国際文化課程卒業  
【河北新報社 営業部】

Q1 在学当時の思い出をお聞かせください。

私の在学中の思い出は、ほとんどが部活動です。男子バスケットボール部のマネージャーをしていて、全国大会にも2度連れて行ってもらいました。もっと勉強もしなければいけなかったのですが…テスト期間や卒論の時期は毎回追い込まれていました。あの親しみやすい中央食堂で、みんなとわいわい過ごす時間も好きでした。

Q2 現在のお仕事に就かれたきっかけはどのようなことですか。

一時期図書館司書を目指していたほど本が好きで、紙媒体で文字を読むことには以前から関心がありました。就職活動が始まる半年くらい前からみんなの真似でしっかり新聞を読み始めましたが、なぜ今まで読まなかったのだろうと思うほどとても面白く感じました。しかし、新聞を読む世帯が減っていたり、デジタル化が紙離れを進めていったりなど、新聞業界が脅かされていることを知り、何とか力になりたいと思い、志しました。

Q3 仕事のやりがいや今後の目標をお聞かせください。

新聞社では、営業として新聞広告を企業へ販売したり、地域のイベントのお手伝いなど縁の下の力持ちのような仕事をしたりしています。入社から1年足らずの身で大変おこがましいですが、営業は会社同士の付き合いというよりも人と人との付き合いで、信頼関係が大事なのだと日々感じます。お客様に「河北さん」ではなく、「河北の松岡さん」と思ってもらえるように、毎日出会いに溢れたこの仕事で繋がりを大切にしたいです。

Q4 後輩となる岩大生へメッセージをお願いします。

入社してから、大学生活がいかに楽しかったのかを痛感させられます。私は毎日学生に戻りたいなと思っています(笑)、もう戻れないので、まだ残された時間のある皆さんは目一杯楽しんでほしいと思います。大学時代には部活動以外にも、色々なアルバイトや多くの国を訪れた経験が、今でも様々な場面での会話に役立っています。何か一つでもいいのでこれだけは胸を張って言える!といえるものを作ること、今のうちにたくさんの経験しておくことは、今後大いに生かされると思います。頑張ってください!

Information

岩手大学の教育・研究コストの情報(平成29年度)

■学生1人あたりの教育関係経費

約64万円/年

(教育関係経費(人件費含む)÷学生数)

教育関係経費(人件費含む) (平成29年度)	35億3千万円
学生数(平成29年5月1日現在)	5,520人



■教員1人あたりの研究関係経費

約759万円/年

(研究関係経費(人件費、外部資金含む)÷教員数)

研究関係経費(人件費、外部資金含む) (平成29年度)	29億9千万円
教員数(附属学校除く常勤教員) (平成29年5月1日現在)	395人



岩手大学ホームページからFINANCIAL REPORTがご覧いただけます。  
【大学紹介】→【財務・調達情報】→【財務諸表等】

岩手大学公式ソーシャルメディアのご案内

岩手大学公式 Facebook、YouTube、学長 Twitter を更新中! Facebookには、広報室学生スタッフが取材した記事も掲載しています。ぜひ覗いてみてください。



岩手大学公式 Facebook :  
<https://www.facebook.com/iwate.u>

岩手大学公式 YouTube チャンネル :  
<https://www.youtube.com/channel/UC8ua2BprbPkSvGSMYwK1aOA>



岩淵学長 Twitter :  
[https://twitter.com/iwate\\_u\\_ai2016](https://twitter.com/iwate_u_ai2016)



Hi!こちら岩手大学  
岩手大学広報誌  
IWATE UNIVERSITY Vol.42 APRIL 2019.4

編集後記

今年は岩手大学創立70周年記念ということで、いろいろなイベントが企画されています。本学教育学部の卒業生である、芥川賞作家、若竹千佐子さんの講演会は今から楽しみです。

在学生の皆さん、伝統ある岩手大学で学ぶことを誇りにして下さい。長い人生の中で、大学での生活はとても貴重な時間です。積極的に色々な経験をし、学びの多い大学生活を送ってほしいと思います。

Hi!こちら岩手大学 vol.42

岩手大学広報室広報誌専門部会

2019年4月発行

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

電話 019-621-6015 FAX 019-621-6014

E-mail:kkoho@iwate-u.ac.jp <http://www.iwate-u.ac.jp/>

本誌へのご意見・ご感想をおまちしております。

Quality First  
hokushu  
YAMAGUCHI HOKUSHU PRINTING CO., LTD.

Since 1893